

保育所・幼稚園における遊具による事故の分析

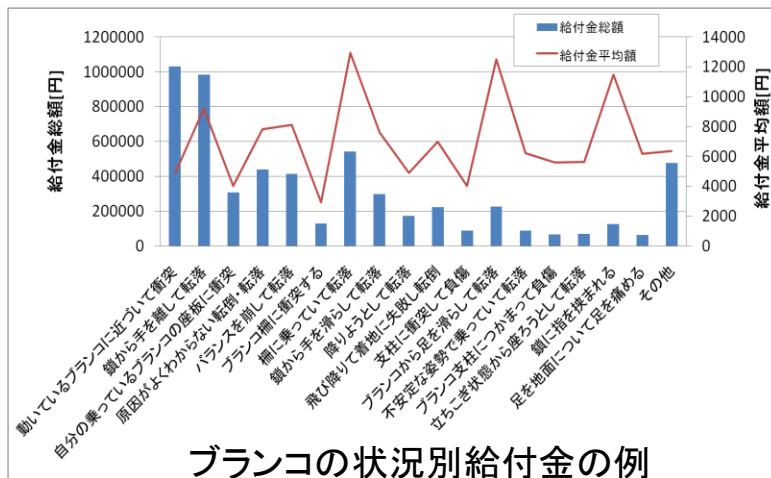
(独立行政法人 日本スポーツ振興センター)

プロジェクトの目的

遊具の改善、遊具の設置法の改善、遊具を用いた教育や遊びの際の注意点の整理と情報発信、などに役立つ知見を得ることを目的に、(独)日本スポーツ振興センターの保有する遊具に関連した大規模傷害データ(被災年月2007年4月～2010年3月、保育所・幼稚園から災害給付制度によって収集したデータ9,317件)を、(独)産業技術総合研究所が保有する傷害データ・マイニング技術やモデリング技術などの傷害データ分析技術を活用し分析する。

結果

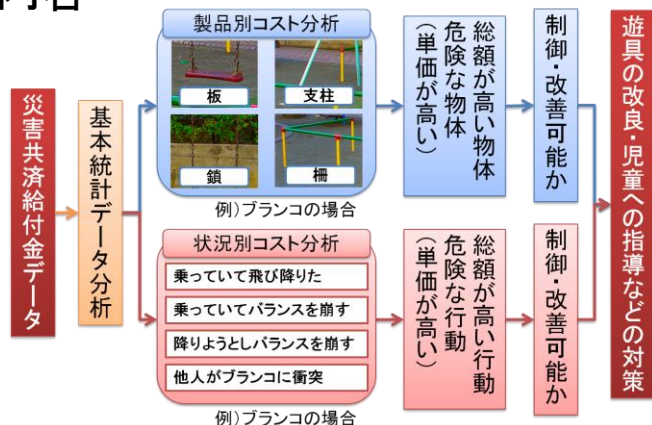
すべり台、雲てい、ブランコの3種の製品パーツ別コスト分析、状況(行動)別コスト分析を行い傾向を明らかにした。



今後の展望・展開

- (独)日本スポーツ振興センターのホームページや、現在、進行している学校安全の委員会等で、これらの分析結果を公開したり、共有したりすることで、これらの知見を広く保育所・幼稚園や教育機関以外の関係者にも活用可能にしていく。
- また、今回の分析によって、高コストな傷害に繋がるパーツや状況が明らかとなったので、具体的に、ハード面の対策の検討や運用面での対策の検討に活用していく計画である。

実施内容



事故の頻度だけでなく、製品パーツ別コスト分析、状況(行動)別コスト分析を行う。